

平成 27 年度 第 3 回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

1 開催日時

平成 27 年 11 月 19 日（木） 10：00～12：00

2 開催場所

札幌市役所本庁舎 18 階 第 4 常任委員会会議室

3 出席者

(1) 委員

蟹江委員長、阿部委員、中川委員、武者委員、山本委員

(2) 札幌市職員

財政局管財部長、財政局工事管理室長、財政局契約管理長、財政局工事契約担当課長、財政局技術管理課長、財政局建築設備検査担当課長、交通局総務課契約係長、水道局総務課契約係長、水道局総務課主査、病院局経営企画課用度係長、 他 5 名

4 次第

(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

(3) 報告事項

ア 工事等発注状況について（平成 27 年度 9 月末）

イ 意見書（平成 26 年度）に対する市の対応状況について

(4) 抽出工事等の決定・審議

(5) 意見交換

(6) その他

(7) 閉会

5 審議概要

(1) 報告事項

【委員長】 工事、業務ともに契約金額が減少しているが、今年度の発注はほぼ終わっているのか。

【札幌市】 工事についてはほぼ発注を終えており、今後大幅に増加することはないと思われる。業務については工事と比較すると執行率が低いため、若干の増加が見込まれる。

【委員長】 入札参加者が工事、業務ともに増加しているが、民間投資が伸び悩むなかで公共工事に回帰する傾向があるということか。

【札幌市】 そのように捉えている。

【委員長】 不調は減少傾向にあるのか。

【札幌市】 発注時期を前倒しする等の取組を行った効果もあり、不調は激減している。

【委員】 くじ引きに関連して、札幌市がランダム係数を導入していない理由は何か。

【札幌市】 最低制限価格率等をランダムに変化させることは、事業者が努力して積算した結果が報われないことになるという建設業界からの反対意見があるため。導入済みの他の政令市においても同様の声が上がっていると聞いている。

【委員長】 個人的には、ランダム係数はくじ引きと同じものだと捉えている。ランダム係数を導入しないという方針には賛成だ。

(2) 抽出工事等の決定・審議

【委員】 実績評価Ⅰ型については、工事成績点に関する評価項目の点数を上げる等、より技術力を重視した配点にするべきだ。

【札幌市】 工事成績点は複数の評価項目に関わっているため、重視し過ぎると一つの要素を重複して評価することになる。

【委員】 人材育成型の得点状況をみると、女性の活用が進んでいないように見受けられる。

【札幌市】 本年度実施した人材育成型のうち、1件で女性技術者が配置されている。

【委員】 雪対策事業について、業務経験自体を評価することは可能か。

【札幌市】 地区により事情が異なるため、客観的な基準を設けることは難しい。

【委員】 労働条件や労働環境に関する評価項目を取り入れてはどうか。

【札幌市】 働きやすい環境という観点から評価項目として導入を検討した経緯はあるが、検証することが困難。

(3) 意見交換

【委員長】 今年度、これまでの審議委員会において様々な意見が出されているため、原則、意見を具申するという事で原案を作成していく。次回の審議委員会にて原案を提示し、意見書の内容について審議していくこととする。